

平成 17 年 1 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社有線ブロードネットワークス  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宇 野 康 秀  
 (コード番号：4842 ヘラクレス)  
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 佐 藤 英 志  
 電 話 番 号 (03 3509 7105)

## ブロードバンド事業の進捗状況について

～月次純増、契約者数 2 万件超、取付数 1.7 万件で前月比約 46%増、前年同月比 2.1 倍～

当社グループのブロードバンド事業（光ファイバーブロードバンド・サービス）について、現在までの進捗状況をお知らせいたします。今回のトピックスは契約数において20,639件（前月比20%増）取付数において17,131件（前月比46%増）の過去最高値を発表できることです。なお、年始最初の発表ですので当社BB事業のこれまでの総括と今年の抱負もあわせて記載いたします。

記

顧客獲得状況（平成16年12月31日現在）

		11 月	11 月増(減)分	12 月	12 月増(減)分	
契 約 者 数		346,494	17,246	367,133	20,639	
取 付 数	個 人	戸 建 住 宅	8,503	(16)	8,496	(7)
		集 合 住 宅	190,175	10,912	206,540	16,365
	法 人	オ フィ ス ・ 商 業 ビ ル	15,893	829	16,666	773
	総 数		214,571	11,725	231,702	17,131

集合物件の加入状況（平成 16 年 12 月 31 日現在）

		11 月	11 月増(減)分	12 月	12 月増(減)分
取 付 棟 数	集 合 住 宅	28,588	763	29,626	1,038
	オ フィ ス ・ 商 業 ビ ル	12,524	605	13,066	542
	計	41,112	1,368	42,692	1,580

		11 月	12 月
加 1 棟 あたり 加入 件数	集 合 住 宅	6.65	6.97
	オ フィ ス ・ 商 業 ビ ル	1.27	1.28
	計	5.01	5.23

BB 事業のこれまでの総括と今年の抱負

ブロードバンド事業をスタートしてほぼ4年を経過し、また、昨年末に発表させて頂いたように株式会社ユーコムコミュニケーションズ(以下、UCOM)が単月ベースで黒字化したことを受け、これまでのブロードバンド事業に関する振り返りと足元業績の総括をするとともに、今年の抱負をまとめさせていただきます。

BB マーケット環境

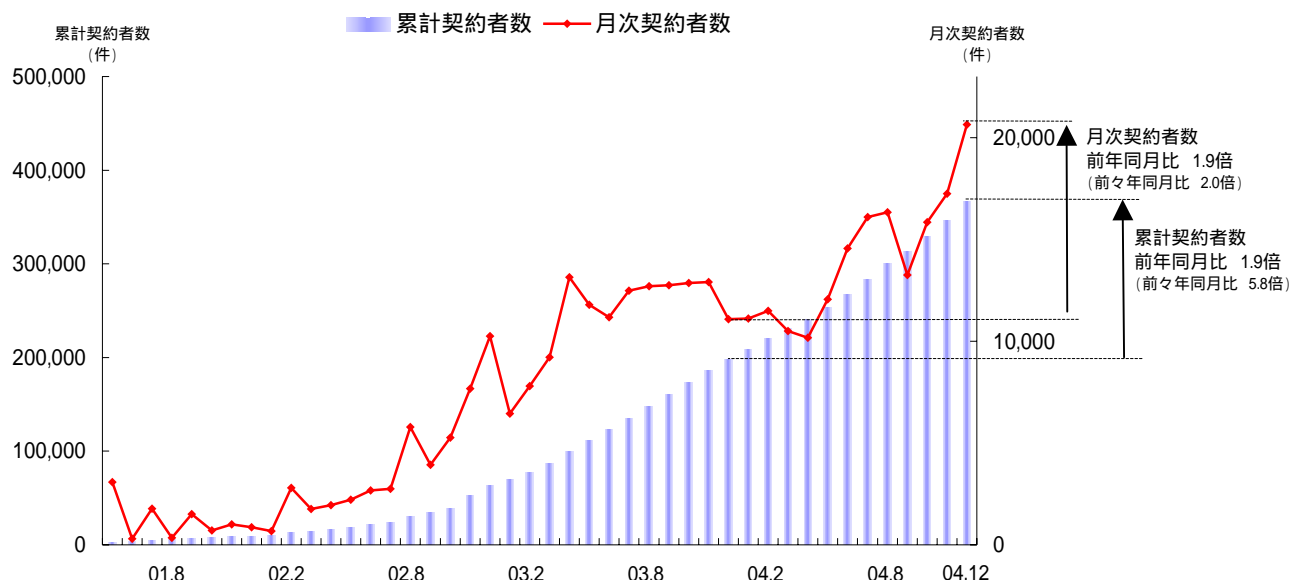
2004年まではADSLが牽引し、日本のBB市場が急拡大してまいりました。2004年の後半から急速にFTTHに対する理解が浸透し、FTTHはADSL以上に注目される「BB究極サービス」として認知されるに至りました。また、年末のFTTH同業他社の数値でも明らかなように月次純増におきましてはFTTHがADSLに接近し、また、一部、凌駕するに至っております。今年においても、このペースはより加速し、2005年はまさにFTTH飛躍の年になると確信いたしております。

累計契約者数・月次推移

毎年、2倍増で累計数を拡大しております。また、月次契約者数においても順調に拡大し12月度におきましては月次2万件超える過去最高を記録いたしております。これはまさに当社の都市部のマンション、中小法人特化の戦略により営業効率が高まっている証左でもあります。

なお、契約と取付の差分は主に「新築マンションにおける受注の竣工待ち」と「顧客契約後の入線承諾待ち」によるものであることを付記いたします。

契約者数の推移

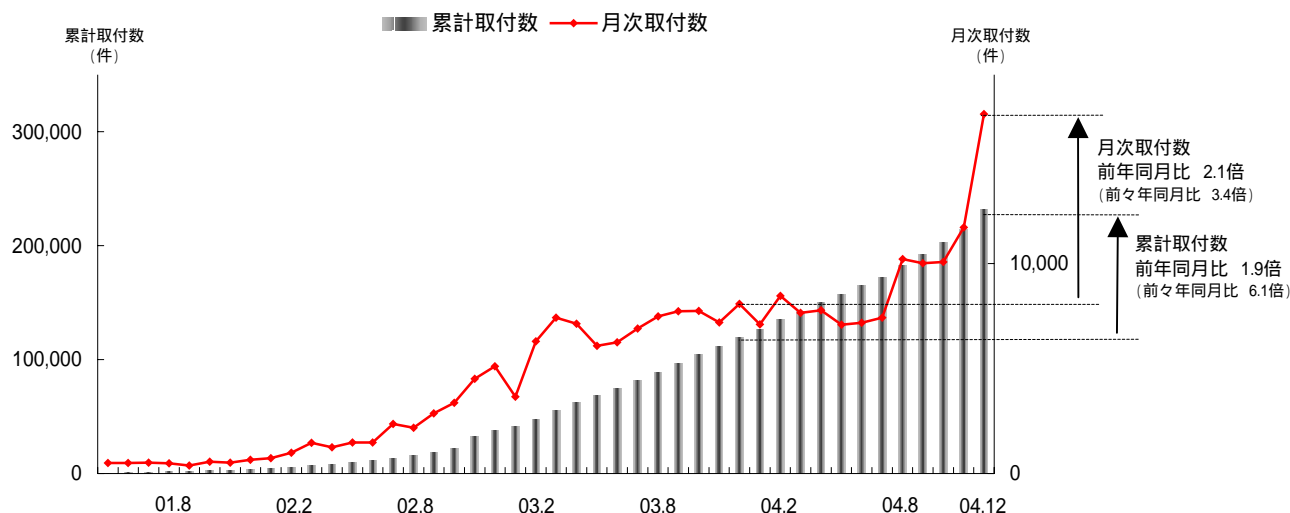


上記グラフには、2002年11月1日付けでの(株)パワーバンドの営業権譲受による、月次契約者数の増加は含んでおりません。

累計取付数・月次推移

事業開始時には、電柱への光ファイバー架設、ダークファイバー調達、マンションでの入線承諾などの外部関係者とのプロセスの確立において苦労があったものの、この困難なプロセス管理自体がノウハウとなり当社の競争優位性となってきております。契約数同様、順調に累計数を拡大しておりますが、特筆すべきは昨年未あたりからの月次取付数の急拡大があげられます。7月までの8,000件前後のペースから、戦略価格商品（100Mbps：2,980円）の投入の効果が現れだした8月以降の1万件前後のペースを経て、12月度は過去最高の1.7万件を発表できるようになりました。また、この先の予定を見ても、この好調ペースは継続的に、また、より拡大していくものと考えております。

取付数の推移

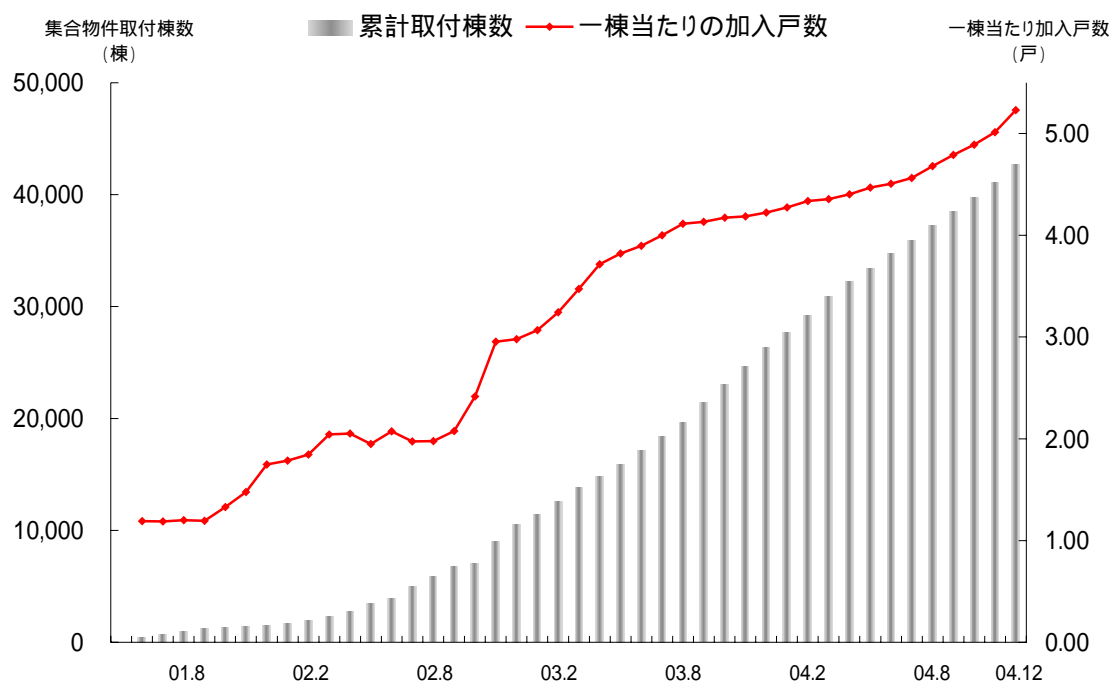


上記グラフには、2002年11月1日付けでの(株)パワーバンドの営業権譲受による、月次取付数の増加は含んでおりません。

### 集合物件入線 / 効率 累積数・月次推移

当社は事業戦略上の先行指標として、この入線数を早くから重要視してまいりました。当社モデルを模して他社においても入線活動に努力を払うようになってきておりますが、この事業開始当初からの努力と放送事業40年における経験において入線活動においては一日の長があると考えております。この指標におきましても、順調に推移してきております。

#### 集合物件取付棟数（入線数）と一棟当たり加入戸数（効率）の推移



### 今年の抱負

昨年来、順調に推移している BB 事業でございますが、今年は更に、BB マーケット自体が大きく増加し、また、ADSL から FTTH に本格的に顧客がシフトすると予想されております。当社は FTTH 特化、都市部特化、集合物件入線特化のフォーカス戦略を引き続き磨き上げ、マーケットからの追い風を最大限に利して、昨年以上の爆発的な事業拡大を狙っていきたいと考えております。

BB 事業の採算性としても、FTTH インフラをつかさどる UCOM での黒字化に留まらず、営業費用を含めた黒字化をより早く達成したいと思います。また、コンテンツ関連事業においては、昨年来、発表しているデジタル・コンテンツ・プラットフォーム構想において、United Sensational Entertainment Network としての具体的な勝ちモデルと実績を発表していけるよう事業展開を加速いたします。

以上